

北九州GX推進コンソーシアム

GX

グリーン・トランスフォーメーション

**北九州GX推進コンソーシアム
の取組状況とその他（北九州
市等）支援制度のご紹介**

2026年05月20日

北九州産業学術推進機構（FAIS）

福岡県では、県内中小企業における省エネルギー対策、再生可能エネルギー設備・コージェネレーション等の導入を対象とする長期・低利融資制度を設けています。

以下、福岡県のチラシより抜粋

1. 融資対象者

県内に事業所があり、現に事業を営んでいる中小企業者（個人、法人、組合）

2. 融資対象設備等（県内の事業所に導入する場合に限る）

(1) 省エネルギー設備（エネルギー効率の高い先端製造設備を含む）

※例えば、省エネ型の照明設備、省エネ型の空調設備、省エネ型の給湯設備等

(2) 再生可能エネルギー設備（売電目的の発電設備を含む）

※例えば、太陽光発電設備、風力発電設備、バイオマスエネルギー利用設備等

(3) コージェネレーション、エネルギーマネジメントシステム、蓄電池

(4) 建築物の省エネ改修

※躯体（外皮）の省エネ改修（設備の省エネ改修を併せて行うものも含む）であって、建築物全体におけるエネルギー消費量が、改修前と比較して概ね10%以上削減されるもの。

(5) その他上記設備等と同等以上の効果を有すると知事が認めるもの

3. 融資の条件

(1) 融資限度額 1億円以内（再生可能エネルギー設備は2億円以内）

(2) 融資期間 10年以内（再生可能エネルギー設備は15年以内） ※据置期間は2年以内

(3) 融資利率 年1.1%（融資期間が10年超の場合は年1.3%）

(4) 保証料率 0.13～1.56% ※詳細は次ページを御覧ください。

(5) 担保 必要に応じ徴求

(6) 保証人 原則として、法人は代表者のみ、個人は不要



[福岡県の関連ウェブサイト](#)

～グリーンアジア国際戦略総合特区～

特区を活用した設備投資で 法人税を軽減できます！

以下の優遇措置も併用可

機械・装置、研究開発用の器具・備品

税額控除 **8%**または 特別償却 **30%**

建物及び附属設備、構築物

税額控除 **4%**または 特別償却 **15%**

[取得期限 令和10年3月31日]

※ 法人税の軽減措置を活用するには、法人指定を受ける必要があります。

- ・ 不動産取得税を課税免除
- ・ 福岡県企業立地促進交付金を5%上乘せ
- ・ 融資に係る利子の0.7%分を5年間補填
- ・ 固定資産税を課税免除

※市町村により条件が異なります

※福岡県のホームページに、制度概要を掲載しています。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/greenasia-gaiyou.html>



特区税制の要件

対象事業

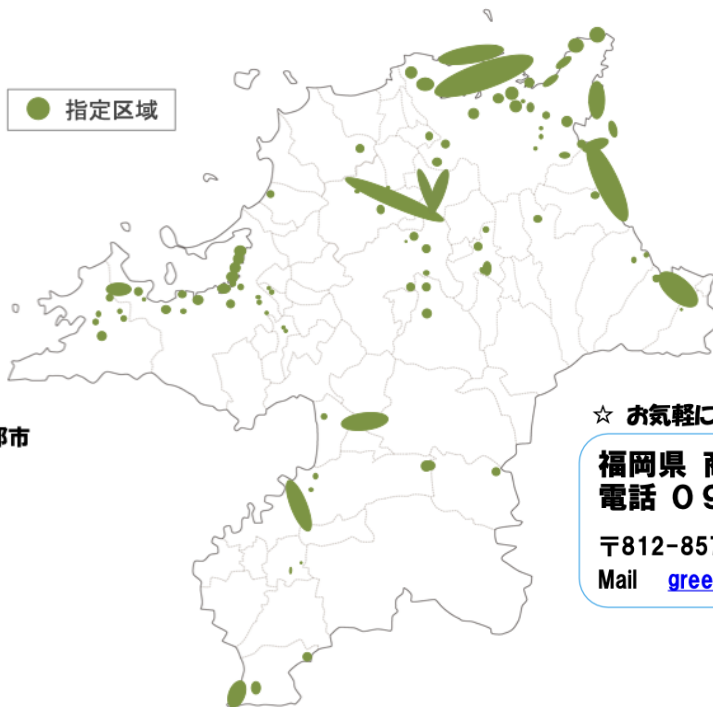
以下の製品等に係る研究開発や生産

- ・環境配慮型自動車（EV、PHV、FCV、HV等）またはその部品
- ・産業用ロボットまたはその部品
- ・その他環境性能の高い製品
（半導体、有機EL、次世代燃料電池、水素ステーション等）

※上記対象事業から、**産業競争力基盤強化商品の生産に関する事業**を除く

対象設備

- 機械・装置（2千万円以上）
- 開発研究用の器具・備品（1千万円以上）
- 建物及び付属設備・構築物（1億円以上）



対象区域

北九州市 福岡市 大牟田市
久留米市 直方市 飯塚市 田川市
筑後市 行橋市 豊前市 中間市 小郡市
大野城市 宗像市 古賀市 福津市
うきは市 宮若市 嘉麻市 朝倉市
糸島市 志免町 小竹町 筑前町
大刀洗町 広川町 荻田町 みやこ町
上毛町 築上町 の一部の区域

～グリーンアジア国際戦略総合特区～

(説明続き)

☆ お気軽にお問い合わせください ☆

福岡県 商工部 商工政策課
電話 092-643-3416

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

Mail greenasia@pref.fukuoka.lg.jp FAX 092-643-3417





北九州市の地域企業のGXの取組みの推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的として、北九州産業学術推進機構GX推進補助金事業を実施します。

以下のような取組みを支援します

自社
「製品・サービス
のカーボンニュ
ートラル化」

新商品
新サービス
開発

政府が掲げる
GX重点分野への
進出

- 企業規模不問
- 補助率 1/2
- 交付上限 500万円

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

補助対象者

(抜粋)

- ・北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有する者であること。
- ・北九州GX推進コンソーシアムに入会していること。
- ・自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること。等

補助対象経費

大項目	経費項目	
	中項目	
I 物品費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改造修理費	
II 労務費	従業員費、補助員費	
III その他経費	旅費、外注費、知的財産権関連経費、諸経費 ※旅費はI～III合計額の20%以内	

補助対象期間

公募開始日(令和8年4月20日)～令和9年1月29日

申請書提出期間

令和8年4月20日(月)～令和8年6月19日(金)17:00必着

本補助金の詳細や申請書様式は、下記のホームページで、ダウンロードできます。

北九州学術研究都市ホームページ <https://www.ksrp.or.jp/collaboration/gx/gx-grant.html>



北九州GX推進コンソーシアム
の独自補助金

GX新商品・サービスの開発支援
(市場調査も可能)

1/2補助+上限500万円
(予算800万円)

応募期限：6/19

地域みらい促進資金（特別枠）のご案内

融資対象者

市内に事務所又は事業所を有し、現に事業を営む、市税を滞納していない中小企業者で、次のいずれかに該当する方。

ア 地域課題の解決など地域経済の活性化に向けた取組みを積極的に行う者であると市長が認めた方（一般枠）

イ 健康経営や脱炭素経営、DX等、未来に向けた先進的な取組みを積極的に行う者であると市長が認めた方（特別枠）

内容

GX推進補助金の
交付決定事業者が
交付決定年度に利用可能

融資条件

限度額	期間 (据置期間)	金利	保証料率	保証人	担保	返済方法
1億円	運転10年以内 設備15年以内 (2年以内)	(一般枠) 10年以内 1.40%	0.45%から 1.51%	必要に応じて法人 は代表者 (個人事業主は不要)	必要に応じて	一括償還又は 分割償還
		(特別枠) 10年以内 1.30%				



北九州市関連ウェブサイト

その他（次年度用のヒント）

北九州サステナブル環境ビジネス展開事業助成金

北九州市環境未来ビジネス創出助成

北九州市サーキュラーエコノミー基盤形成推進事業費補助金

← 年度当初に公募

← 来年2027度に応募できるかも

関連補助金のご紹介

サステナブル環境ビジネス展開事業助成金

北九州市 環境局
環境国際部 環境国際戦略課

電話：093-662-4020
<https://asiangreencamp.net/>

関連補助金のご紹介

サステナブル環境ビジネス展開事業助成金

環境関連技術・製品の海外展開の支援

公募期間:令和8年4月13日(月)~令和8年5月22日(金)

◆補助金概要

環境関連技術・製品の海外展開を目指す市内中小企業等を対象に、現地での実証試験および事業可能性調査(FS)に要する費用の一部を助成し、海外での事業展開を支援します。

種類	対象分野	対象者	補助率	限度額
実証試験	現地ニーズに適合させるための実証	環境関連技術・製品の海外展開を目指す市内中小企業など	対象経費の1/2以内	600万円
事業可能性調査(FS)	ビジネスモデル構築のためのFS	※事業期間中に新たに北九州市内に拠点(シェアオフィスを含む)を設置する中小企業者も対象です。		200万円

<対象経費>

土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、保守・改造修理費、人件費、消耗品費、旅費、外注費、諸経費

関連補助金のご紹介

環境未来ビジネス創出助成

北九州市 環境局
グリーン成長推進部
サーキュラーエコノミー推進課

電話：093-582-2630

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_11329.html

関連補助金のご紹介

環境未来ビジネス創出助成のご紹介




環境ビジネス創出 と 環境技術開発 の支援

◆補助金概要

公募期間:例年 4月中旬～5月中旬

R8夏頃
二次募集予定(調整中)

◆これまでの採択事例

種類	対象分野	補助率	限度額
社会実装 	環境ビジネスの創出に向けた研究 成果等の早期事業化に向けた取組	対象経費の 1/2～2/3	500万円
実証研究 	リサイクル技術、環境保全技術、 省エネルギー技術等の研究開発		500万円
F S 	市場性及び経済性等の調査・研究 原材料の確保等に関する調査・研究		200万円

廃プラ・廃木材を使用した建材の製造

<廃木材と廃プラ>

<木質建材>



廃電子基板からの貴金属回収

<廃電子基板>

<金など貴金属の回収>



<対象経費>

原材料費、リース料、外注加工費、人件費、技術指導費、調査費など

関連補助金のご紹介

サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金

北九州市 環境局
環境監視部 産業廃棄物対策課

電話：093-582-2177

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/00900163.html>

サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金

- 産業廃棄物の減量・再生利用につながる設備導入等を支援し、サーキュラーエコノミーへの移行を図る補助制度
- 令和7年度は3社の取組を選定

<補助対象事業例>

- ・産業廃棄物の再生利用率向上のための設備導入
(選別機、圧縮機、小型破碎機等、処理工程の一部改善のみも可)
- ・自社廃棄物の排出削減のための設備導入
(端材削減のための製造工程の一部改善、包装材の再生利用化のための設備改善 等)
- ・新しい設備を導入するための市場調査費用
- ・新しいリサイクル手法の研究費用
(視察にかかる旅費、研究・調査に要する委託費 等)

<補助率・補助金額・補助対象者>

補助対象経の区分	補助対象経費	補助率	補助金上限	補助対象
設備導入事業	構築物費	1/2 以内	1,000 万円を上限	・排出事業者 ・産業廃棄物処理業者
	機械装置費			
	工具器具費			
	付帯工事費			
	その他経費			
FS調査事業	謝金、旅費、原材料費、外注加工費、 機械装置費、共同研究費 等	2/3 以内	200 万円を上限	・排出事業者 ・産業廃棄物処理業者 ・大学等



サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金



➤ これまでの採択事例

年度	事業概要	区分(設備導入・調査研究)	概要資料
R6	ゼロエミッション、サーキュラーエコノミー(資源循環)確立と実現 (フレコン圧縮機、分別回収装置等導入)	設備導入事業	 
	過熱水蒸気を用いた廃プラスチックからの再生商用重油製造	設備導入事業	
R7	破砕機の導入によるプラスチックの有効利用促進	設備導入事業	
	排水処理汚泥のバイオマス燃料化調査研究	調査研究事業	—

サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金

<事業スケジュール>

日付		内容
令和8年4月20日	～ 令和8年5月29日	事業計画書受付期間
令和8年5月下旬	～ 令和8年6月中旬	審査
令和8年6月下旬	～	内示
令和8年7月上旬	～ 令和8年7月中旬	交付申請・交付決定(決定後、事業開始)
	～ 令和9年3月31日	事業完了・実績報告書

<問い合わせ先>

北九州市役所環境局産業廃棄物対策課

TEL :093-582-2177

E-mail:kan-haikibutsu@city.kitakyushu.lg.jp

詳細については
こちら



北九州GX推進コンソーシアムについて

北九州GX推進コンソーシアム



産学官金オール北九州による 「北九州GX推進コンソーシアム」を設立。(R5.12)



↑ 設立総会(令和5年12月12日)

日本製鉄、TOTO、安川電機、ゼンリン、九州電力、西部ガスなど・参加会員 約

400+
社・者

会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関(IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構(FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

北九州市内外を問わず
様々な規模・業種の企業/団体が参加

北九州市の強みを生かしてGX投資を呼び込む

コンソーシアム会員企業・団体

アークエル IHl アイ・エス・カンパニー ICSSAKABE アイム製作所 アグリス アグリツリー アスエネ アスカコーポレーション アステック入江 ATGREEN
 アプリス アミタセキュラー アルテックソリューションズ アンビエンタ E support e-dash E4G eMotion Fleet イオンモール いしかわエンジニアリング
 イジゲングループ 磯部鉄工 出光興産 岩谷産業 インタラクティブ ウイングアーク1st ウィンテージ ウェルクリエイト ウォータースタンド 内本開発
 海×TECHプロジェクト実行委員会 ウメトク AID AGCエスアイテック エアーテック エア・ウォーター西日本 HGグローバルインダストリーズ エコウッド
 エコ・エナジー ECOS Japan エコプラスワン エコプラン研究所 SMC ESCO・ZEB推進協会 Eternal Vision エックス都市研究所 NRS ENECHANGE
 エネルギーマネジメント協会 エフエイオープン エム・アイ・ビー事業協同組合 MK総合研究所 EMOBIA オートテックジャパン 尾池アドバンスフィルム 大原学園
 岡崎製作所 岡住工業 岡野バルブ製造 Carbon EX 科学と金融による未来創造イニシアティブ 柏木興産 兼松寒川 兼松ペトロ KAMAMESHI カメイ
 唐津GX推進プラットフォーム 唐津パワーホールディングス カラビナテクノロジー 川村製作所 環境エネルギー 環境テクノス 関門海洋保全協会 関門経済研究所
 ギグワークスクロスアイティ 北九州エアターミナル 北九州産業学術推進機構 北九州環境ビジネス推進会 北九州観光コンベンション協会 北九州銀行 北九州興産
 北九州工業高等専門学校 北九州市 北九州市立大学 北九州Duckbills 北九州中小企業団体連合会 北九州テクノサポート 北九州パワー 北原製作所
 九州オープンイノベーションセンター 九州機電 九州経済調査協会 九州工業大学 九州大学大学院 九州チャニターサービス 九州鉄道機器製造 九州電力 九州日昌
 九州ベアリング 協和機工 ギラヴァンツ北九州 金融庁 勤労食 Quantmatic Climate Bonds Initiative グランド印刷 桑原電工 グリーナー Green AI
 クリーンセンター クレディセゾン 黒木工業所 黒崎播磨 ケーメック ケイエスピー 慶昇産業 計測検査 ケミテックTTC コーセイジャパン CORE 光正
 光和精鉱 小倉合成工業 小倉セメント製品工業 Kobot 是永商会 コンダクト 西部ガス SAKIGAKE JAPAN サスティナビリティ・DX推進協議会 里山を考える会
 サニックスエンジニア サニックスホールディングス 山九 産業医科大学 三恵化工 三洋コンサルタント 三和技巧 CX Value Lab GZキャピタル CYD
 ジェイ・イー・ピー J A三井リース九州 J C C L シェルブリカンツジャパン ジオパワーシステム シスコム シスメット ShibuLA Ventures
 ジャパンシステムエンジニアリング シャボン玉石けん JOYCLE 省エネルギーセンター 昭和興産 商工組合中央金庫 商船三井テクノトレード 白石鉄工 しろみず
 新北九州工業 新コスモス電機 中小企業診断士事務所シンフォニー 新菱 親和スチール スキルアップNeXt スターフライヤー スタッフサービス SPEC スマートライト
 セイコーエプソン 正興電機製作所 ゼムケンサービス ゼロポード ゼン・ユウジャパン ゼンリン 双日九州 測研 損害保険ジャパン 第一交通産業 第一製作所
 大英工務店 大英産業 ダイキンHVACソリューション九州 ダイコウ技建 DAIKO TOOL ダイナリイ 太陽インキ製造 太陽日酸 高石餅店 タカギ 高田工業所
 宝工業所 田中鉄工 タンソーマンGX 地球環境戦略研究機関 筑豊製菓 千代田エネルギーソリューションズ 千代田工販 鎗絵 恒成工作所 鶴屋本舗
 ディー・ジー・アイ DECORATE COMPANY デジタルグリッド Tensor Energy デンソー九州 DEN農 トーカロ ドーガン トータル・インテリア・工房中野
 トータルテック TOTO ドーワテクノス 東亜金属工業 陶器の戸田 東京海上日動火災保険 東芝 東邦レオ 特殊鋼機 特殊清掃 TOPPAN 戸畑製作所
 戸畑ターレット工作所 中辻特許事務所 七尾製菓 南開工業 南陽 西鉄バス北九州 西日本オートリサイクル 西日本ガラスリサイクルセンター 西日本シティ銀行
 西日本新聞社 西原商事ホールディングス ニシヤマ 日鉄エンジニアリング 日鉄ケミカル&マテリアル 日鉄興和不動産 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス
 日本気象協会 日本グリーンLPガス推進協議会 日本コークス工業 日本GXグループ 日本磁気選鉱 日本政策金融公庫 日本政策投資銀行 日本製鉄 日本鉄塔工業
 日本電通 New Energy Nexus NIRAS ネクストクリエーション 熱産ヒート ノーエン 野坂建設 野中産業 野原商会 バーネット バイウィル ハイנטツェック
 Hakobune ハゼモト建設 パナソニック 濱田重工 浜松市カーボンニュートラル推進協議会 バリーバード 半田電設工業 B2S 日立製作所 ひびき精機 ひびき灘開発
 響灘火力発電所 ピュアエナジー 日吉化学工業 ファクテム Phemotron Systems フォースウェブ・パートナーズ フォーバル 福栄工業 福岡銀行
 福岡県産業資源循環協会 福岡県リサイクル総合研究事業化センター 福岡トランス 福岡ひびき信用金庫 フジコー 富士電機 Flysense ふうてい会 Bloom Energy Japan
 古河電工ビジネス&ビジネスサポート プレシメント PREMA9 プロセスサポート プロテクノエンジ ペーパードライバー講習合同会社 平和自動車工業
 BEST GEAR・パートナー 紅忠スチール HelpTech ボーダーレスジャパン/ハチドリ電力事業 ホクサイ運輸 ポルト マツシマメジャテック マル商 万田発酵
 三島光産 みずほ銀行 Misumi 三井住友海上火災保険 三井住友銀行 三井住友信託銀行 三井住友ファイナンス&リース 三井ハイテック 三菱ケミカル
 三菱地所ウッドビルド 三菱総研DCS 三菱UFJ銀行 未来テクノ 村上精機工作所 メイホー メディクリン メンテル メンバーズ もやい聖友会 八洲貿易
 安川電機 山十 ヤマト運輸 ユーコーリプロ U-POWER 夢をかなえる研究所 ユニプレス九州 陽和 横浜企業経営支援財団 吉川工業 ラック
 LAVO Hydrogen Storage Technology LLC ランテックソフトウェア リコージャパン リフェコ リベルタス・アドバイザリー リョウワ レアメタル レセプター
 レッドマルスADベンチャー ROCKY-ICHIMARU YEデジタル YMFG ZONEプランニング ワイエムコンサルティング ワイルド化成 若築建設
 早稲田大学大学院情報生産システムセンター

(2026年3月時点)

産学官金の数多くの企業が参加

北九州GX推進コンソーシアムの取組み



GXによる北九州市の成長に向けた取組みを展開

先端テーマ別部会設置

- ・プロジェクトメイキング・チームビルディング
- ・共同研究、国等外部資金獲得支援、実証の場コーディネート
- ・大学等の研究シーズ紹介
- ・産学官金出合いの場、マッチングの場

次世代燃料・カーボンリサイクル部会

グリーンLPガス・メタネーション・SAF等の新しいエネルギーソリューションを検討し、産業間の対話を促進
水素、CCUS等も今後のテーマ候補に



自動車部会

徹底した省エネ・再エネ活用に
関する取組事例の共有(WG開催)と
専門家派遣



半導体部会

発展する先端産業とそれを支える半導体技術の関連性や進化する半導体技術の最新動向を発信



グリーンサーキュラー部会

産業廃棄物処理業界全体のGX推進と「グリーンサーキュラー認定制度」の取組を促進

5/29
立上げ
イベント



オープン・イノベーション部会

GXに関心の高い企業間で今後の協業やオープンイノベーションにつなげることを目的に、業種・業界を超えた情報交換と交流の場を提供

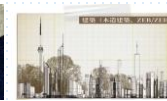


未来共創部会

GXに資する可能性のあるテーマについて、テーマごとに議論・研究・勉強会・セミナー等を開催



宇宙



木造建築
ZEB・ZEH



森林火災
カーボンクレジット



学研都市
脱炭素化



意識啓発・
機運醸成

新しい技術を社会実装につなげていく「共創」の場を形成

G X 推進補助金

地域企業のGXビジネスモデル変革・新ビジネス創出を推進

対象となる取組

- 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化
- 新商品・新サービス開発
- 政府が掲げるGX重点分野への進出

交付上限 500万円
補助率 1/2
補助対象者 市内事業者

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

<採択事業例>

小倉セメント製品工業

CO2低減量算定のための
基幹システム改修



ウエルクリエイト

地域食品資源循環ソリューション
の脱炭素効果算定システムの構築



4/20 START

令和8年度 GX推進補助金

GXで企業価値を高める取組を支援します

北九州GX
北九州GX推進補助金
加入申請書はこちら

北九州市の地域企業のGXの取組の推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに関するビジネスの創出及び官民の協力を促進することを目的として、北九州産業革新推進機構(GX推進補助金)を創設し、補助金を実施します。

以下のような取組を支援します

「自社製品・サービスのカーボンニュートラル化」	新商品・新サービス開発	政府が掲げるGX重点分野への進出	企業規模不問 補助率1/2 交付上限500万円
-------------------------	-------------	------------------	-------------------------------

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

補助対象者 北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有する者であること。
北九州GX推進補助金システムに入会していること。
自社の脱炭素効果算定の排他審査に着手していること。等

補助対象経費	経費項目
I 物品費	土木・建築工事費、機械器具等製作・購入費、消耗品費、保守・改修経費
II 労務費	従業員費、補助員費
III その他経費	旅費、不注費、知財登録経費、雑経費 ※旅費はI～III合計額の20%以内

補助対象期間 公募開始日(令和8年4月20日)～令和9年1月29日

申請書提出期間 令和8年4月30日(月)～令和8年6月19日(金)17:00必着

本補助金の詳細や申請書様式は、下記のホームページで、ダウンロードできます。
北九州産業革新推進機構ホームページ <https://www.karp.or.jp/collaboration/gx-grant.html>

問い合わせ先
＜本補助金担当＞ 北九州産業革新推進機構(GX推進補助金)事務局
〒810-0103 北九州市東区御幸1-1-1 2階 202号室
TEL: 093-495-3006 FAX: 093-495-3018
E-mail: fx-grant@karp.or.jp

<採択件数>

令和6年度 3件 / 令和7年度 4件

<補助対象期間>

令和8年4月20日(月)～令和9年1月29日(金)

<申請書提出期間>

令和8年4月20日(月)～令和8年6月19日(金)

GXで企業価値を高める企業の取組みを支援

北九州GXエグゼクティブ・ビジネススクール

経営層向けGXビジネススクールを北九州市が開発

満足度
100%

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

第1期：令和6年 1月19日～ 3月 1日（全6回） 受講者 15社 27名
 第2期：令和6年10月11日～11月15日（全6回） 受講者 10社 17名
 第3期：令和7年 9月 5日～11月14日（全6回） 受講者 6社 8名



カリキュラムを共同開発
延べ31社52名受講！

<第3期カリキュラム>

第1回	GXに関連する国内外の動向
第2回	GXのエンゲージメント
第3回	事業活動の脱炭素化
第4回	脱炭素ソリューションの開発
第5回	GXを実現するための手段
第6回	GX実現のためのアクションプラン



主な講師陣

九州電力

日本IBM

デンソー九州

JCLP

PwCコンサルティング

GreenAI

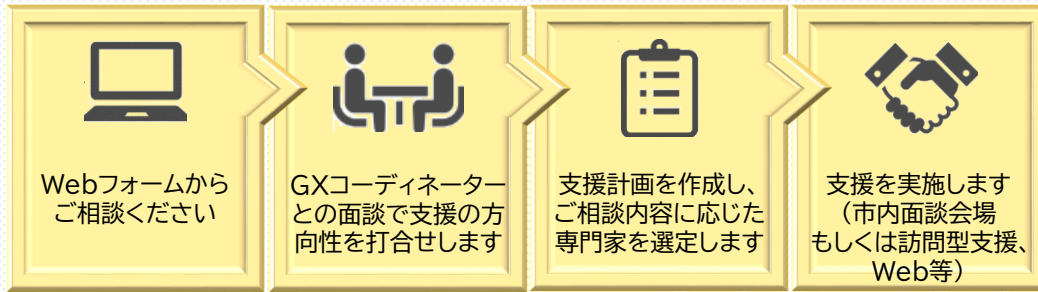
スキルアップ
NeXt

GX推進機構

各社がアクションプランを作成、脱炭素経営の次のステージへ

専門家派遣・伴走支援

GXの知識・技術を有する「専門家」による 伴走支援を実施



対象
北九州市
域の企業

相談
無料

3回^{まで}

2026年3月まで
33件
相談受付対応

- 算定したCO2排出量の妥当性評価
- 工場の生産ライン見直し
- GX関連補助金活用支援、SBT認証取得支援
- 協業支援企業発掘

等

- 登録専門家(15社)
- 省エネ・再エネ**
- ・九州電力
 - ・西部ガス
 - ・エネルギーマネジメント協会
- 生産ライン**
- ・デンソー九州
 - ・ドーワテクノス
- 最新動向**
- ・地球環境戦略研究機関(IGES)
- ロードマップ策定**
- ・タンソーマンGX
 - ・NIRAS
- 環境技術**
- ・環境テクノス
 - ・日本電通
- IT導入**
- ・アルファコミュニケーションズ
 - ・メンバーズ
 - ・アップルツリー
- 金融関連**
- ・三菱UFJ銀行
 - ・東京海上日動火災保険
- (2026年4月時点)

専門家による課題解決に向けた伴走支援

ご清聴ありがとうございました



北九州GX推進コンソーシアム
<https://ktq-gx.com/>



KTQ-GX
Challenge 2050

